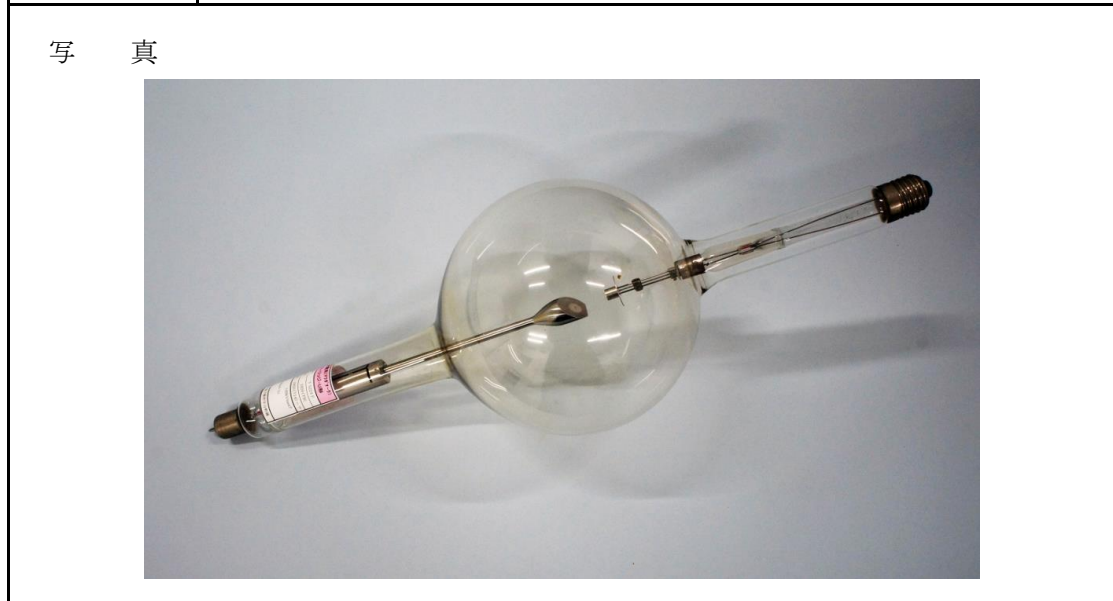


独自の工夫で取扱いを改善した初期のX線管

登録番号	第 00252 号		
登録年月日	平成30年8月28日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	クーリッジX線管U型
所在地	福岡県福岡市 九州大学
所有者 (管理者)	国立大学法人九州大学
製作者(社)	東京電気株式会社 (現：東芝電子管デバイス株式会社)
製作年	1925年頃
初出年	1920年
選定理由	国産初の熱陰極X線管クーリッジ管で、サイズ(Φ18cm×55cm)・形状はGE社のものとほぼ同じであるが、バルブ中央の排気口(チップ)が陰極側ソケットの中に収納されているので不用意な破損を防げ、取扱が容易である。この点は初期のGEのU形より進歩している。ガスX線管と違いシンプルな構造である。焦点寸法は、Φ8.5mmと大きいが、透視診断や体表面の放射線治療に用いられた。最初期の国産クーリッジ管として重要である。
登録基準	一ーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの)

公開・非公開	公開
--------	----



その他参考となるべき事項	製造番号：T5224F 8.5mm円形焦点 100kV-60mA-1s 140kV MAX
--------------	--